

# 歴史的街並み保存と利活用のための実践的勉強会とセミナー

事業代表者 宇都宮大学教育学部・教授・陣内雄次

## 1. 事業の目的・意義

2017年度に栃木市の蔵の街をフィールドに、本学教育学部の学生が蔵の街を活かしたまちづくり提案を行った。この提案を受け、今年度は具体的な実践につなげていくための、学生・地元住民・地元の若者による研究会を栃木市蔵の街課が設置した。本研究会の活動を支援するため、歴史的な街並み保存と利活用に関する蓄積のある石川県金沢市のNPO法人金澤町家研究会の協力を得た。

## 2. 事業内容

栃木市蔵の街を活かした組織づくりを目指し、栃木市蔵の街課が中心となり、地元住民だけでなく、本学学生、地元の若者（高校生によるまちづくり団体のOBOG）という若い世代が関わることにより、持続可能な組織の組成を進めた。具体的には、栃木市の歴史ある街並みを活かした写真撮影スポットの現地調査、NPO法人金澤町家研究会によるセミナーを実施した。

### 【第一回蔵の街を活かしたまちづくり研究会】

日時：2018年8月21日（火）19時～20時40分

会場：栃木市役所

- ・蔵の街の撮影スポットを3班（江戸・明治、大正、昭和）で検討。
- ・今後各班で自主的に撮影していくことになった。
- ・蔵の街の良さを市民目線で再発見する。



写真－1 撮影スポット検討の様子

【第二回蔵の街を活かしたまちづくり研究会】

日時：2018年10月24日（水）19時～20時50分

- ・各時代の「蔵の街写真撮影ポイント候補」を発表。
- ・今後のスケジュールについて確認。
- ・写真撮影の準備（キャスト、服装、撮影日などについて）を班ごとに行った。



写真－2 撮影ポイントの発表の様子

【街の街の撮影スポット写真報告会&蔵の街を活かしたまちづくりセミナー】

日時：2019年1月26日（土）13時～16時30分

場所：栃木市役所 402会議室

第1部 蔵の街の撮影スポット写真報告会

13時～13時45分

\*コメンテーター

川上光彦先生（NPO法人金澤町家研究会理事長、金沢大学名誉教授）

陣内雄次（宇都宮大学教育学部教授）

第2部 蔵の街を活かしたまちづくりセミナー

14時～16時30分

\*進行 陣内研究室

(1) 講演「金沢における歴史的街並み保存とまちづくり」 14時～15時20分

講師 川上光彦先生（NPO法人金澤町家研究会理事長、金沢大学名誉教授）

1) 講演 14時～15時

2) 質疑 15時～15時20分

(2) ワークショップ「蔵の街を活かしたまちづく

り研究会として、どんなことができるか？」

15時30～16時20

川上先生の講演を受け、蔵の街を活かしたまちづくり研究会のこれからの取組について検討するとともに、川上先生よりアドバイスをいただいた。

- 1) グループワーク
  - 2) 発表と共有
  - 3) 意見交換
- (3) セミナーの振り返りとまとめ

16時20～16時30



写真-3 川上先生による講義



写真-4 グループワークの様子



写真-5 発表の様子

#### 4. 事業の成果

栃木市民や若者（学生など）による組織を立ち上げ、そのメンバーが栃木市の歴史的街並みを再発見する取組を経て、メンバー同士のコミュニケーションの深化、栃木市の街並みへの理解と愛着心を向上することができた。

また、川上先生の講義により、金沢市における歴史的街並み保存と利活用の仕組み、市民参加の方法などについて詳細を知ることができた。加えて、歴史的街並みの価値そのものをメンバーが再確認できたことが大きな収穫であった。

ワークショップにより、これからの活動の方向性を見出すことができた。まずは、栃木市の歴史的街並みに関する情報発信を、SNSなどを活用し各自で進めることになった。メンバーそれぞれのモチベーションの高まりを実感できるワークであった。

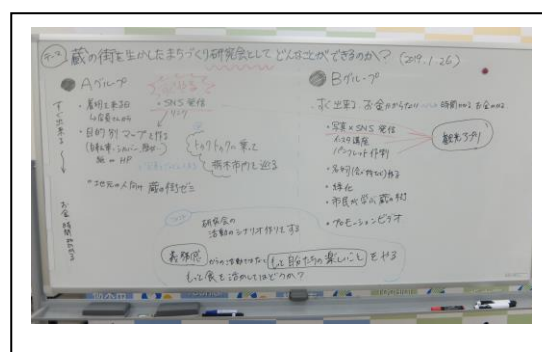


写真-6 ワークショップのまとめ

#### 5. 今後の展望

来年度以降、研究会の自律（立）的な活動へと展開できるかどうか、大きな鍵となる。また、活動の持続性を鑑みれば、若手のメンバーを増やしていくことも課題の一つである。長期的な視点からは、法人化（例えば、NPO 法人法人）することも検討すべきであろう。

引き続き、研究室として支援を継続していきたいと考えている。